Title	江戸期浮世絵における伊勢絵:伊勢物語の近世的表象
Sub Title	Ise-e in Edo-period ukiyo-e
Author	内藤, 正人(Naito, Masato)
Publisher	慶應義塾大学
	度 応義至八子 2022
Publication year	
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2021.)
JaLC DOI	
Abstract	江戸期には、和漢の様々な古典文学が絵画化された。このうち、平安時代の著名な文学作品であ る伊勢物語は、近世においてもテキストに引用されるなどしており、おもに庶氏向けの版本類に とりあげられたものである。そしてそこにはテキストのみならず、往時の絵師たちによる物語図 像を伴う例も少なくなかったのである。 本研究は、主として江戸期の可力世界において普及した伊勢物語の絵画=伊勢絵について、江戸 期の浮世絵師が描いた同種の竹人世界において普及した伊勢物語の絵画=伊勢絵について、江戸 期の浮世絵師が描いた伊勢絵では、まず江戸前期の浮世絵の開祖・菱川師宣の諸作例 のうち、従来言及されることのない「名所和歌の道引』(天和二)をとりあげた。これより時代 の下った西川祐信『伊勢物語』(延享四)などでも同様だが、江戸前期から中期にかけて浮世絵 師により作画された伊勢絵は、基本的に過去の物語絵図様を踏襲したものが多く、加えられた変 容はせいぜいのところ、人物の面貌指写等の絵師様式化、あるいは、登場する人物を江戸風俗に 置換する「やつし」に限られている。このことは、往時の手習本である「往来物」と呼ばれる版 本の挿図に伊勢絵がしばしば登場する理由を明示するが、それはすなわち、当該期にはもっぱら 、庶氏向けの基礎的な教養として伊勢絵の定型図像が求められるに過ぎなかった、という事実で ある。 ただし、当世化のなかには、著しい図様の変容を示す例もある。とくに幕末動乱期の作として、 人気絵師の三代歌川豊園による錦絵版画「東海道名所之内」運作中、「池鯷鮒八ツ橋」などが注 目される。この時期には、広重の東海道連作版画の人気にことよせた定番の人気商品として、揃 物形式の版画集が多数刊行されたが、文久三年刊行の本図では名にし負う伊勢物語の八つ橋の故 事を描くも、その背景に時の十三代将軍徳川家定の上洛行列が描き出されている。王朝以来の名 所が、人心の不安を掻き立てる幕末の世相のなかで、着しい変奏を加えられて最認識されるよう すに、驚かされるのである。 During the Edo period (1603-1868), many paintings were produced based on various classical Japanese and Chinese literary works. Among them, the lse Monogatari, a famous literary work from the Heian period, was frequently indicket on the varion the set on the set on the case with 15e Monogatari (1747) by Nishikawa Sukenobu, a later work, but the lse paintings by ukiyoe artists in the early edo period, and was frequently included in printed books mainly for the common people. This time, I focused on Isee drawn by ukiyoe artists in the Edo period. Among them, I first took up "Meisho Waka no Michibiki" (1882), a work by Hishikawa Moronobu, the founder of ukiyo-e in the early to funde books called ourai-mono, which were handbooks of the odd days. However, there are some examples of the modernization of see. fina spinota of the edo period div hos is hot ouch by the poluid period and the silustration of a series of nishiki-e prints of Tokaido Meishon ou cloid by Hiroshige, and this ilustration, published in 1863, depicts the procession of the 13th shogun, Tokugawa lasada, to kyde against the background of the last days of the beipid work ba seene congraid of the ta
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2021000003-20210034

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって

保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	本出物	200 (B) -			
	氏名	内藤 正人	氏名(英語)	Masato Naito	→ 補助額		(D) T		
	I	研	」 究課題(日本語	告)	1	<u>.</u>			
江戸期浮世絵における伊勢絵――伊勢物語の近世的表象									
Ise−e in Edo-p	eriod Ukiyo−e								
		1. ł	研究成果実績の	の概要					
キストに引用されたちによる物本ので、「「「「」」の「「」」の「」」の「」で、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、	れるなどしてお 加語図像を戸期の として江当該師 の道引』(こよの運動の) 道絵描来物」と一般で 、当該師 が二 世貌本物のなり によの呼養 にのの の が に、 、 物 形 で 、 当 に 、 当 に に よ の で い 当 い に よ の で い 当 い に よ い の で い 当 い に よ い の で い 当 い に よ い の で い う い い い い い い い い い の の い う い い い い い	古典文学が絵画化された。この り、おもに庶民向けの版本類し 利も少なくなかったのである。 の町人世界において普及した行 の関連作例ならではの特色を 描いた伊勢絵では、まず江戸)をとりあげた。これより時代の 画された伊勢絵は、基本的に がして伊勢絵の定型図像が求め 著しい図様の変容を示す例も 中、「池鯉鮒八ツ橋」などが注目 の版画集が多数刊行されたが 意川家定の上洛行列が描き出ま こ最認識されるようすに、驚かさ	ことりあげられた 野勢地語の 新期、分理 物語類 のの の の の の の の の の の の で た の の で た の の で た の の で た の の で た の の で た の の で た の の で た の の で た の の で 西 物 た で む 気 で 世 川 末 の の で 西 物 た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む 物 を た で む し れ る に く に に る 。 こ の り て こ れ る 。 こ の り て た 、 こ の ま こ 、 こ の し に る 。 こ の し て こ に こ こ の に こ こ の に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ こ こ し て こ に こ こ の こ こ こ に こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ に こ こ こ こ に 二 二 二 こ の こ こ こ こ こ こ に こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	とものである。そしてそこには 「=伊勢絵について、江戸期の とともに、分析や検討、考察を の開祖・菱川師宣の諸作例の 言『伊勢物語』(延享四)などで 図様を踏襲したものが多く、加 俗に置換する「やつし」に限ら る理由を明示するが、それは なかった、という事実である。 末動乱期の作として、人気絵師 寺期には、広重の東海道連作 の本図では名にし負う伊勢物 朝以来の名所が、人心の不安	テキストのみなら フ浮世絵師が描 カカえ、従たのであ うち、様だが、なは えられた変容の なわている。この 、 すなわち、当該 師の画の人気にこ 物語の八つ橋の	っず、行いるさ戸せと期 国とよ事ではにによる	主 司 こ期ぜ、は よさを す こ期ぜ、は よさを な中とのい時っ 綿定も、 るた古く 総定も、		
		2. 研究	成果実績の概要	要(英訳)					
Among them, t edo period, and This time, I fo (1682), a work also the case of mid-Edo period of the charact appeared in the However, there among the wor Tokaido Meishe set were publi published in 18 Monogatari sto	he Ise Monogat I was frequently cused on Ise-e by Hishikawa M with Ise Monog d were based of ers' faces, or t e illustrations of a are some exa- ks from the tur o no Uchi by the shed as a star 363, depicts the ry of the Eight en recognized	1868), many paintings were p hari, a famous literary work fro y included in printed books ma drawn by ukiyo-e artists in loronobu, the founder of ukiyo atari (1747) by Nishikawa Suk n previous story illustrations. he substitution of Edo custon f printed books called ourai-m amples of the modernization rbulent period at the end of the e popular painter Utagawa Tor idard and popular product fol e procession of the 13th shog Bridges. It is astonishing to se with a great change in the wor	m the Heian pe inly for the com the Edo period -e in the early enobu, a later of In the majority ns for those of ono, which were of Ise-e that s he Edo period i yokuni III. Durin lowing the seri cun, Tokugawa I se how a famou	riod, was frequently used as a mon people. . Among them, I first took up Edo period, which has never b work, but the Ise paintings by of cases, the changes made the characters themselves. the andbooks of the old days. show a remarkable transform s Chiryuu Yatsuhashi, one of g this period, a number of pri es of prints of Tokaido by H esada, to Kyoto against the I s place that has been around	a text for childro "Meisho Waka been mentioned ukiyoe artists were limited to This explains wh ation. Particular a series of nish nt collections in liroshige, and th background of t since the days	en in the beford in the the st hy Ise dy not hiki-e the far of the	the early lichibiki e. This is early to cylization –e often teworthy prints o form of a istration mous Iso		
発表 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	(清	発表学術誌名 謇 春行所・講演学会)	学術誌系 (著書発行年)		月 演年月)		
内藤正人		「浮世絵にみる伊勢絵」	思文閣	出版『伊勢物語造形表現集	2023(刊行予定)			

成』